

下水道事業業務状況説明書類 (令和元年度上半期)

事業の概況

●公共下水道の整備状況（R1.9.30現在）

区 分	平成31年3月末	令和元年9月末	令和元年度上半期増減
水洗化人口（区域内）	39,860 人	39,795 人	▲ 65 人
参考）水洗化人口（区域外を含む）	39,921 人	39,856 人	▲ 65 人
水洗化率（区域内）	86.8 %	86.9 %	0.1 %
参考）水洗化率（区域外を含む）	87.0 %	86.9 %	▲ 0.1 %

※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値

●個別排水処理施設の整備状況（R1.9.30現在）

区 分	平成31年3月末	令和元年9月末	令和元年度上半期増減
設置等基数	82 基	83 基	1 基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

工事発注の状況（H31.4～R1.9）

【公共下水道事業】

予算：収益的支出 款：下水道事業費用 項：営業費用 目：管渠費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
富岸町地区下水道管路上舗装補修工事	2019/7/3	3,369,600	菱中建設(株)室蘭支店
下水道管渠内面補修工事その1	2019/8/8	4,752,000	(株)北海道グリーンメンテナンス

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
污水管渠改良工事その1	2019/4/25	5,583,600	(株)小笠原組
污水管渠改良工事その2	2019/4/25	6,901,200	(有)合田産業
污水桝設置工事その1	2019/4/25	2,052,000	(有)市岡組
1040-1外污水管渠新設工事	2019/5/22	8,683,200	柳町建設(株)
污水桝設置工事その2	2019/6/6	637,200	(有)市岡組
常盤町外下水道管路上舗装工事	2019/6/25	5,529,600	菱中建設(株)室蘭支店
污水桝設置工事その3	2019/7/3	4,050,000	(株)北信建設
污水桝設置工事その4	2019/7/11	2,689,200	(株)小倉組
污水管渠改良工事その3	2019/9/2	14,982,000	柳町建設(株)
污水桝設置工事その5	2019/9/11	1,551,000	(株)小笠原組

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
若山浄化センター照明灯具更新工事	2019/7/17	737,640	木村電機工業(株)

【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その1	2019/6/13	3,402,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その2	2019/9/2	1,496,000	(株)藤田設備工業

経理の状況

令和元年度 登別市下水道事業会計 貸借対照表
(令和元年9月30日 現在)

(単位:円/税抜)

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		886,906,909	
ロ 建物	879,874,887		
建物減価償却累計額	<u>△ 208,723,331</u>	671,151,556	
ハ 構築物	29,200,563,167		
構築物減価償却累計額	<u>△ 4,127,263,563</u>	25,073,299,604	
ニ 機械及び装置	2,667,129,415		
機械及び装置減価償却累計額	<u>△ 1,027,187,224</u>	1,639,942,191	
ホ 車両運搬具	1,285,200		
車両運搬具減価償却累計額	<u>△ 160,000</u>	1,125,200	
ヘ 工具, 器具及び備品	15,130,486		
工具, 器具及び備品減価償却累計額	<u>△ 12,119,065</u>	3,011,421	
ト 建設仮勘定		45,258,263	
有形固定資産合計			28,320,695,144
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権		1,656,000	
無形固定資産合計			<u>1,656,000</u>
固定資産合計			28,322,351,144
2. 流動資産			
(1) 現金預金		294,308,497	
(2) 未収金		111,783,602	
引当金		△ 5,662,706	
(3) 前払金		3,703,900	
(4) その他流動資産		10,650,282	
流動資産合計			414,783,575
資産合計			<u>28,737,134,719</u>
3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,258,746,480		
企業債合計			16,258,746,480
(2) その他固定負債		640,000	
固定負債合計			16,259,386,480
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	616,027,683		
企業債合計			616,027,683
(2) 未払金		0	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金		—	
ロ 法定福利費引当金		—	
引当金合計			0
(4) 預り金		7,781	
(5) その他流動負債		27,947,918	
流動負債合計			643,983,382
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		11,893,126,813	
(2) 収益化累計額		△ 2,267,609,358	
繰延収益合計			9,625,517,455
負債合計			<u>26,528,887,317</u>
6. 資本金			
(1) 自己資本金			
イ 固有資本金	1,150,640,328		
自己資本金合計			1,150,640,328
資本金合計			1,150,640,328
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	340,627,285		
資本剰余金合計			340,627,285
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処理剰余金	716,979,789		
利益剰余金合計			716,979,789
剰余金合計			<u>1,057,607,074</u>
資本合計			<u>2,208,247,402</u>
資本負債合計			<u>28,737,134,719</u>

※償却累計額及び収益化累計額の計上にあたっては、それぞれ減価償却費、長期前受金戻入について、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

令和元年度 登別市下水道事業会計 損益計算書

(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(単位：円)

1	営業収益			
(1)	下水道使用料	324,134,069		
(2)	処 理 料	7,717,896		
(3)	他会計負担金	0		
(4)	その他の営業収益	<u>61,800</u>	331,913,765	
2	営業費用			
(1)	総 係 費	351,848		
(2)	職員給与費	21,029,022		
(3)	管 渠 費	8,156,942		
(4)	処 理 場 費	100,950,934		
(5)	排水設備促進費	151,964		
(6)	し尿投入施設運転管理費	352,500		
(7)	個別排水処理管理費	1,963,902		
(8)	減 価 償 却 費	493,614,500		
(9)	資 産 減 耗 費	0		
(10)	その他営業費用	<u>0</u>	<u>626,571,612</u>	
	営業利益			△ 294,657,847
3	営業外収益			
(1)	その他営業外収益	6,410,192		
(2)	受取利息及び配当金	10		
(3)	雑 収 益	21,600		
(4)	他会計補助金	827,000,000		
(5)	長期前受金戻入	<u>207,195,500</u>	1,040,627,302	
4	営業外費用			
(1)	支 払 利 息	145,673,307		
(2)	雑 支 出	<u>0</u>	<u>145,673,307</u>	<u>894,953,995</u>
	経常利益			600,296,148
5	特別損失			
(1)	その他特別損失	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	当年度純利益			600,296,148
	前年度繰越剰余金			<u>116,683,641</u>
	当年度未処理利益剰余金			<u><u>716,979,789</u></u>

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

そ の 他

前事業年度の決算の状況

【総括事項】

平成30年度は、収入面において、平成30年1月1日に実施した使用料改定により、前年度に比べて使用料収入が大きく増加しました。

しかしながら、資本費の高止まりや企業債元金償還金の増嵩、年間有収水量の減少などを考慮すると、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

支出面においては、下水道事業経営戦略を基に、将来に亘って安定的に下水道サービスを提供するため、事業実施において維持管理経費等の縮減に努めることはもちろん、ライフサイクルコストを低減する観点から、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

ア 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ105,694^m減少の3,092,957^m、個別排水処理施設事業で前年度に比べ1,909^m増加の16,624^mとなりました。

また、接続戸数(浄化槽設置基数)は、公共下水道事業で前年度に比べ177戸増加の20,835戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ3基増加の82基となりました。

イ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい常盤町地区の汚水管渠改築更新工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、主要設備機器の老朽化が進んでいることから、下水道機能の停止を未然に防止するとともに、ライフサイクルコストの最小化を図るため、登別市下水道長寿命化計画に基づき、水処理設備の更新工事などを実施しました。

【決算の概要】

(収益的収支)

収入は、営業収益7億2,890万6,575円(うち使用料収入6億5,023万4,200円)、営業外収益11億5,229万385円の合計18億8,119万6,960円となりました。

これに対し支出は、営業費用14億5,760万5,703円、営業外費用3億678万7,536円、特別損失20万5,157円の合計17億6,459万8,396円となり、収支差引による当期純利益は1億1,659万8,564円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債収入8億6,990万円、負担金及び分担金収入3,734万4,446円、補助金収入3億748万2,350円の合計12億1,472万6,796円となりました。

これに対し支出は、建設改良費5億6,284万4,753円、企業債償還金12億2,386万9,390円の合計17億8,671万4,143円となり、収支差引による不足額は、5億7,198万7,347円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。